

整理番号：6－8

提言題名：雨による被害の防止改修計画について

【提言要旨】

双葉地区に長年住んでいる70代の夫婦です。

この地区は全般的に低く雨による被害に常に苦しめられています。

今般の願いは、この苦しみから脱却いたしたく、お願いするものです。

私共は双葉自治会の会員として、本会を窓口としてさらに、市長並びに関係部門等に強く要求しております。

市等は改修計画を立て努力されていると思いますが、なお更なる努力を要求するものです。雨が降るたび不安になるこの地区を自分事と考え是非とも改修を宜しくお願い申し上げます。

(令和8年5月受付)

【回答要旨】

管理課では、双葉地区の東側の双葉緑道沿いに田んぼからの溢水を防ぐ目的で3か所、さらに、双葉3丁目地区の勘兵エ堀排水路沿いには、用水からの溢水を防ぐ目的で2か所、合計で5か所に土嚢及び止水板の設置を行っております。

また、双葉団地内に、浸水センサーを5か所設置しており、リアルな道路状況を把握し、速やかに対応ができるよう備えているところです。

(管理課 令和8年5月回答)

排水対策課では、双葉団地周辺における水害対策については、これまでも市として重要課題と位置づけており、今後も排水路やポンプ場等の点検を定期的におこない、施設改修及び水路清掃等の適正な維持管理を進めていきたいと考えております。

昨年度、双葉ポンプ場の動作確認がリアルタイムで情報共有できるシステムを導入いたしました。災害時にも迅速に対応したいと考えており、より一層の住民の安全確保に取り組んで行きたいと考えております。

(排水対策課 令和8年5月回答)

農政課では、双葉団地の水害対策として、令和4年度に勘兵エ堀排水路につきまして当初100mの嵩上げ(30cmから50cm)実施から始まり、令和5年度に470m、令和6年度に30mの嵩上げを実施し、総延長計600mの嵩上げ及び防水シートの敷設を行いました。

また、大夫落排水路につきましては、令和6年度に200mの嵩上げ・防水シ

ート敷設を行い、双葉第一ポンプから排水される水路付近の水位が下がるのに時間がかかり水路側面の土砂が崩落してしまうため、その土砂崩落対策として橋の袂から団地側に沿って約30mのコンクリート敷設工事を行い、令和7年度にも70mの嵩上げ及び防水シート敷設工事を行いました。

団地西側小排水路につきましても、令和6年度に150mの嵩上げを実施しました。

大夫落排水路及び勘兵エ堀排水路農業排水路においては、水位観測用AIカメラを設置し、水路の水位情報について関係各課との情報共有に努めています。新川第2排水機場のポンプ(1基)につきましては、令和6年度に自動運転化を行い、急な水位の増加時にも自動水位調節機能により排水対応しております。

(農政課 令和8年5月回答)